

第1回 第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議 議事要旨

日時：令和2年9月18日（金） 19:00～20:45

場所：廿日市市役所3階 政策審議室

報告事項（1）第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

①「資料1-2 検討会議の対象範囲」において、小見出しが検討会議の対象ではない理由は。

市）小見出しは主な取組をまとめたものとなっており、検討部会を踏まえて主な取組を決めた後で検討させてもらいたい。小見出しの検討は外部会議の後半で調整させていただく。

委）現状で固定ではないということか。

市）固定ではない。

②「資料1-4 第2期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定スケジュール」について、検討会議で議論したことはチーム会議等には反映しないのか

市）検討会議等で話し合ったことは事務局で整理し、チーム会議に反映させる。スケジュール表に検討会議からの矢印を追加する。

報告事項（2）廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27-R2）の振り返りについて

③「資料2-1 廿日市市まち・ひろ・しごと創生総合戦略（H27-R2）の振り返り」について、「主な数値目標」となっているが、記載していない数値目標もあるのか。

市）基本目標1については3つある数値目標の内、実績の要因が分かる目標を記載している。

委）数値目標の間で優先順位があるというわけではないのか。

市）優先順位があるというわけではない。「資料2-3 基本目標別振り返りシート」に数値目標の達成状況は記載している。資料2-2にはそこから特徴的なものを抜粋している。

④大半の数値目標が達成できているが、目標値が低かったのではないか。また、従業員の増加等についてはゆめタウンができたことの影響も大きいと思う。

市）卸売業・小売業で大きく増加となっており、ゆめタウンの影響が大きいと思われる。

委）そういった分析も記載してもらえると良い。

⑤基本目標4に関して、まちに愛着を持っている人の数値がなぜ下がったのか。地域別に理由はあるのか。

市）毎年アンケートを実施しているが、理由の深掘りまではできていない。同じアン

ケートの別の設問で、「これからも同じ地域に住み続けたくない」と答えた理由として「通勤・通学」や「買い物など日常生活」の不便さを挙げた割合が高い。

また、愛着教育を実施しているが、その教育を受けている世代がまだ 18 歳以下であり、アンケートの対象にならないことから、愛着教育の結果が見えるのはまだ先となる。

委) アンケート結果は公表されているのか

市) 市のHPで公表している。

委) データの出典元を記載しておいた方がよい

座長) 地域によってはアンケート回答者の数が少なすぎて、クロス集計が難しく、アンケートだけで分析するのは難しい。

報告事項(3) 廿日市市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(改訂案)について

⑥平成 25 年度以降から人口が約 500 人増加している。これは外国人の増加が大きいと思う。毎年約 100 人増加しているとすると、日本人はむしろ減っているのではないか。

委) 外国人人口の動向についても調査をしているのか。

市) 今回の人口ビジョンでは、外国人人口の動向に関するデータも追加しており、追って説明させていただく。

⑦「資料 2-1 廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27-R2)の振り返り」について、「創業に向けた環境整備やダイバーシティ経営普及セミナーの取組が有効であったと考えられる」と記載されているが、これが数値目標の市内従業者数が向上した理由という認識で良いか。

市) 創業に向けた環境整備ダイバーシティ経営普及セミナーは、平成 28 年度の効果検証の中で、総合戦略の主な取組として新たに追加している。セミナーは令和元年 9 月に開催し、45 名が参加した。また、イクボスに関する事業所向けのセミナーを開催し、30 名が参加した。こういった状況を踏まえ、効果があったと考え記載している。

委) セミナーの開催が数値目標の向上の要因になっているかのようにみえるが、そうではないと思う。

⑧「魅力を発信してきたことが転入超過の継続に貢献していると考えられる」と記載されているが、その根拠はどこにあるのか。

市) 総合戦略の施策「(1) ウェルカムはつかいち ～暮らしを楽しむ魅力いっぱいのもまち～」における小見出し「②子育て世代を中心に若者の移住・定住を促進する」の中でシティプロモーション事業等を行っており、こういった取組の成果として社会動態の増加につながっていると考えている。

委) 転入者に転入理由を聞く等して、「シティプロモーションがあったから転入した」と回答していた情報があるのか。明確なことのみを記載し、希望的観測は記載しない方がよい。

市) シティプロモーション事業と転入の理由との関係性まで調査できていない。

委) 転入が増加しているのには何か背景がある。ぜひ分析してもらいたい。

⑨人口ビジョンは今後も委員から意見を出す機会はあるのか。

市) 人口ビジョンは来年6月に公表予定で、それまではあくまで素案となる。今後意見や調べて欲しいことがあればぜひ言ってもらいたい。2045年に11万人という人口の目標については、別の計画でも掲げている数値に合わせている。

⑩現在の総合戦略では、元々あった基本目標に追加する形で「女性の視点」があったが、「目指すべき将来の姿」、「資料2-1 廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27-R2)の振り返り」でも「女性の視点」について触れられていない。将来展望等を考える上で、結果のとりまとめには入れておく必要があるのではないか。

市) 「女性の視点」は、目標数値の達成状況は整理している。「女性の視点」は、基本目標1～4それぞれに関連があり、1～4の振り返りの中で「女性の視点」もできている。

委) 総合戦略策定時にあえて「女性の視点」追加したことに強い意図があったのではないか。

市) 「女性の視点」を総合戦略から削除するわけではない。前回同様に基本目標と并列に扱うのか、現在の基本目標1～4のどこかに入れて対応するのか、今後施策の体系案と合わせて検討していく。

座長) 他の基本目標と統合するにしても、振り返りは必要なのではないか。今後について議論をするためにも、現段階では項目を残しておいてもらいたい。

⑪転出者の転出理由の割合において、住宅に関して力を入れているにも関わらず、転出の理由として「住宅事情」が高くなっており、原因を調べる必要がある。

市) 事務局で調査させていただく。

⑫人口は増えている。一方で合計特殊出生率は上がっていないという状況にみえる。仕事が増えている等々のストーリーがみえづらい。子どもを増やそうという人が入ってきているのか。人口を増やすという目標は達成できているが、子どもを増やす目標は達成できていない。そういった状況の中で、ダイバーシティ化が進み、企業が増えているから上手くいっているというのは、結論として弱いと思う。それを踏まえると、仕事が増え、ワークライフバランスに対する意識も高まってきている状況の中で、地元に着着を持っているから廿日市市に住んでいるというのは疑問があり、基本目標4が浮いているようにみえる。

委) 基本目標4だけ数値目標を達成できていない。もう少し分析を進めてもらいたい。

協議事項 （４）第２期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討部会について

⑬テーマ２、３を設定した理由はあるのか。

市）テーマ２は関係人口の創出・拡大は、東京一極集中の傾向が是正できていないという状況を踏まえた国の総合戦略の中で、定住・移住までいかなくとも地域と関係を持ち続ける関係人口の創出・拡大が挙げられている。本市においても、今後各地域で関係人口を広げていくことが重要だと考えている。

テーマ３は、（国の戦略基本目標は地方にしごとをつくるから稼ぐ地域をつくるに変わっている）本市においても、儲かる産業をつくる必要があると考え設定している。

⑭地域特性を踏まえてエリアでとあるが、エリアで分ける必要があるのか。各エリアで聞いた方が総合的にみられる。他地域のことを知る機会は少ない。各地域にある資源を共有することで、稼ぐ力に関するアイデアが出てくるのではないかな。

委）テーマ設定の意図はあるのか

市）中山間地域、沿岸部それぞれの課題に応じてテーマを設定している。

委）なるべく違うエリアの人たちを集めた方が活発な意見交換になると思う。

市）人選については、各エリアで活躍している人を呼び、それぞれの課題について話をしてもらおうというイメージでよいかな。

委）実践者を市内に限る必要はないのではないかな。市外で活躍する人をゲストとして招聘し、その事例をどう廿日市市に落とし込むかという議論でも良いのではないかな。

委）テーマ②のゲストのイメージはあるのか。

市）中山間で活動される地域支援員などを想定している。

委）ニュースレター等で発信する際、テーマだけでもワクワクするようなものにしてほしい。

⑮関係人口について検討部会で意見交換していく中で、関係人口に関する KPI の設定も議論の対象になっていくのか。また、基本目標５として新たに追加される可能性はあるのか。

市）意見交換でいただいた意見は、主な取組として該当する小見出しを事務局で検討する。その際、新たに小見出しや施策を追加する可能性もあり、K P I についても同様である。これらは検討会議の中で議論の対象となる。

⑯第２回の会議で施策体系を考えていく中で、現在上げているものテーマ以外に、話し合うべきキーワードが出てくるかもしれない。検討部会のテーマは第２回会議で決定するという事で問題ないかな。

市）そのように調整させていただく。

⑰座長）テーマと基本目標の関係が分かりづらい。検討部会のテーマ案と体系案の基本目標との関係性が分かるようにしてもらえると議論がしやすい。

体系案を検討しながらテーマを設定する方法と、市が意見を求めているテーマ、どちら

らを優先するかを含めて次回の会議で議題としたい。

市) 会議の開催回数も限られる中で、総花的なテーマ設定はできないため、戦略の中の戦略としてキーワードを提示させていただいた。様々な意見があるので、次回の会議でテーマを設定してい。

委) キーワードとして、廿日市市の戦略の大きなタイトルは「そこそこの廿日市」である。そこを外さないようテーマ設定したほうがよい

⑱検討部会が何を目的としているのかが分かりにくい。また、振り返りの中で、多様な働き方の内容をみると、若い人や女性しか出てこない。もっとマイノリティの人もいるはず。障がい者に関してはスポーツ活動への参加しか触れられていない。外国人や障がい者等のマイノリティも含め、もっと多様な人を取り込んだ内容にしてはどうか。

市) 国の総合戦略では、関係人口等新しい方針がでており、それらに向けた具体的な取組について検討をしていくために、検討部会を開催したいと考えている。

座長) 2つ目については総合戦略のありかたそのものから考える必要がある。例えば、広島市の総合戦略はアクションプランとしてあらゆる分野を網羅している。熊本市は仕事に特化している。廿日市市の場合、現在の事務局案としては、現行の基本目標をベースに洗練させていく、アップデートさせるイメージになっているが、そのことについて意見はないか。

委) 総花にしない方が議論は進むと思うので、(現行の基本目標をベースとして) ある程度論点を絞るこの方法で良いと思う。

また、先ほどマイノリティの人も取り込んだ内容について意見があったが、国の戦略を勘案するのであれば、SDGsについて本文に記載すべきである。

市) 次回の体系案はストーリー性も加味して提案させていただくので、KPI も含めて各専門分野からの意見をいただきたい。

体系に沿って何に取り組むかについては、すでに実践的に取り組んでいる人から話を聞きたい。

同時に今作っている総合戦略のことを知ってもらえるといいと思う。

⑲総務省の少子化対策評価ツールをみると、雇用等様々な要素から分析されている。そのツールでどんな要素が使われているのか、ぜひ情報を入手してみてもらいたい。

議題4 まとめ

座長) できあがった案よりできるまでのプロセスで、実践者の方に総合戦略を理解していただくことが大切である。

一方、コロナの影響もあるので、市外の方の参画については方法を考えていただきたい。